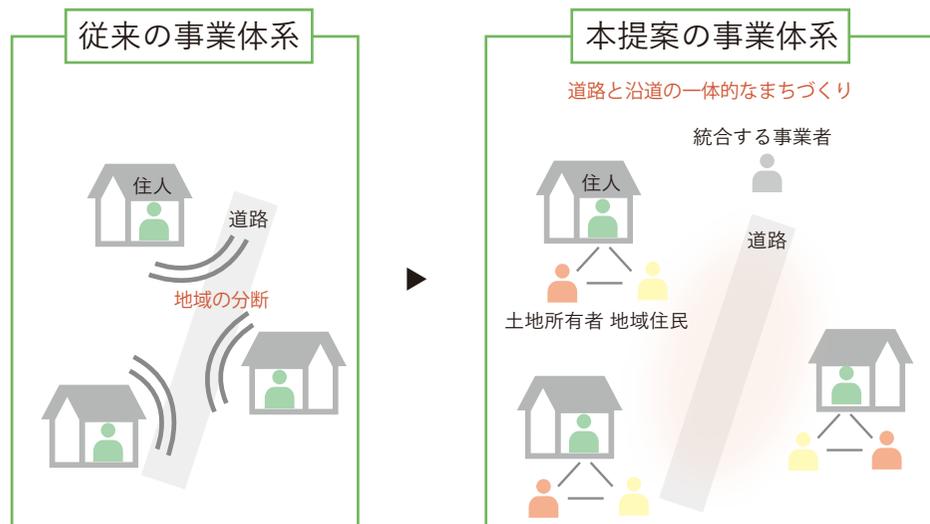


# つくる文化を継承する建築

## -環状第5の1号線の開発を契機とした新たな地域環境デザイン-

題材：都市計画道路事業 - 雑司ヶ谷環状第5の1号線 -

研究手法

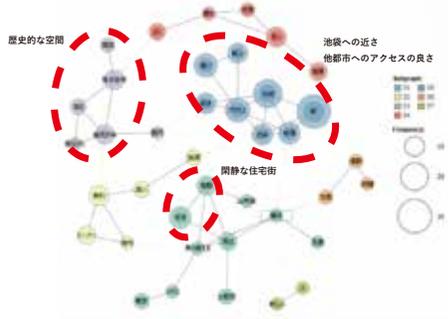


調査

人口分析



ロコミ分析

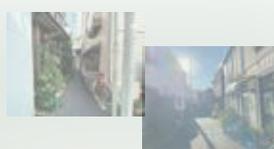


まちなみ分析

路地を装飾する植栽



隣地空地の利用



緑と関係する道と建築



空地の活用の消失



地域文化の分析



目的の設定

まちのビジョン

創作を通じた住民の主体的な活動が日常的に表出するまちづくり

どのように

環状5の1号線という線の空間を生かした、創作活動が日常的に表出する空間の提供

具体的に

植栽活動をする | 植栽を支える家具をつくる | 緑空間をつくる | 催し物を開催・参加する

住民がどうなるか

日々住民同士の関わりを持つ | 自分の家の前を彩る動機を生む

まちがどうなるのか

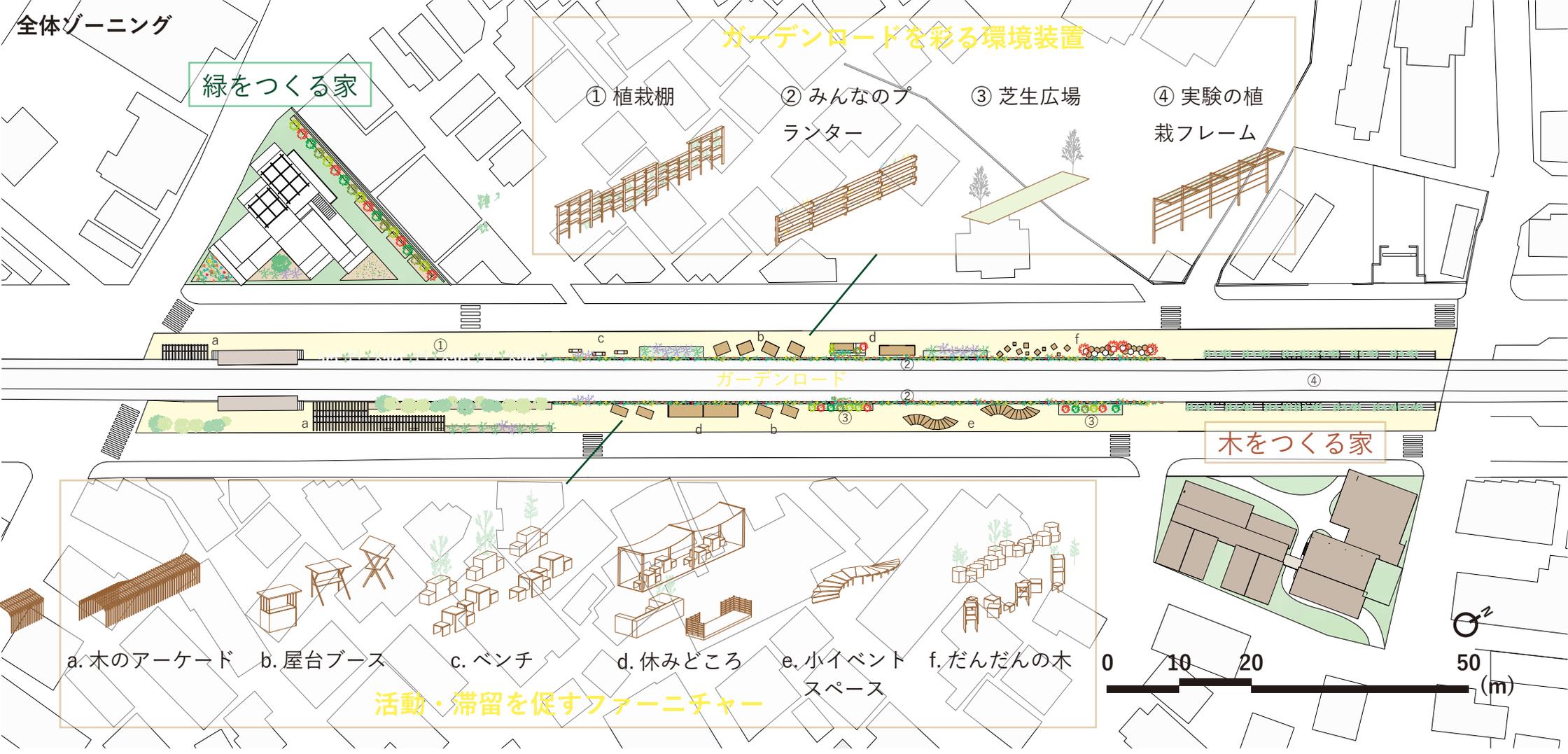
自分たちの手でまちを彩っていく意欲を醸成する

# 全体ゾーニング

緑をつくる家

## ガーデンロードを彩る環境装置

- ① 植栽棚
- ② みんなのプランター
- ③ 芝生広場
- ④ 実験の植栽フレーム

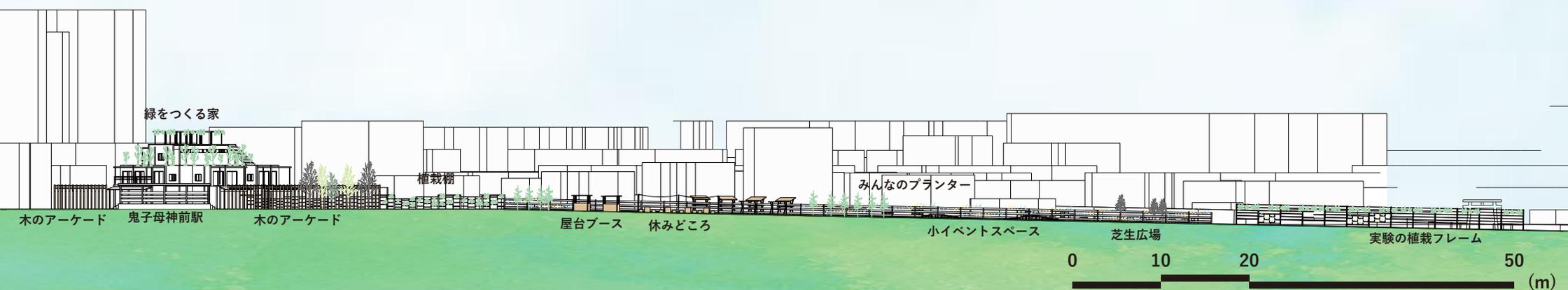


木をつくる家

- a. 木のアーケード
- b. 屋台ブース
- c. ベンチ
- d. 休みどころ
- e. 小イベントスペース
- f. だんだんの木

## 活動・滞留を促すファニチャー

# 全体断面図



- 木のアーケード
- 鬼子母神前駅
- 木のアーケード
- 植栽棚
- 屋台ブース
- 休みどころ
- みんなのプランター
- 小イベントスペース
- 芝生広場
- 実験の植栽フレーム

# 空間イメージ



緑をつくる家：道に飾る植栽を育てる若者単身者向け集合住宅



木をつくる家：植栽を支える家具や道に飾る家具をつくる若者向け集合住宅



緑をつくる家を見て、植栽への興味が湧く



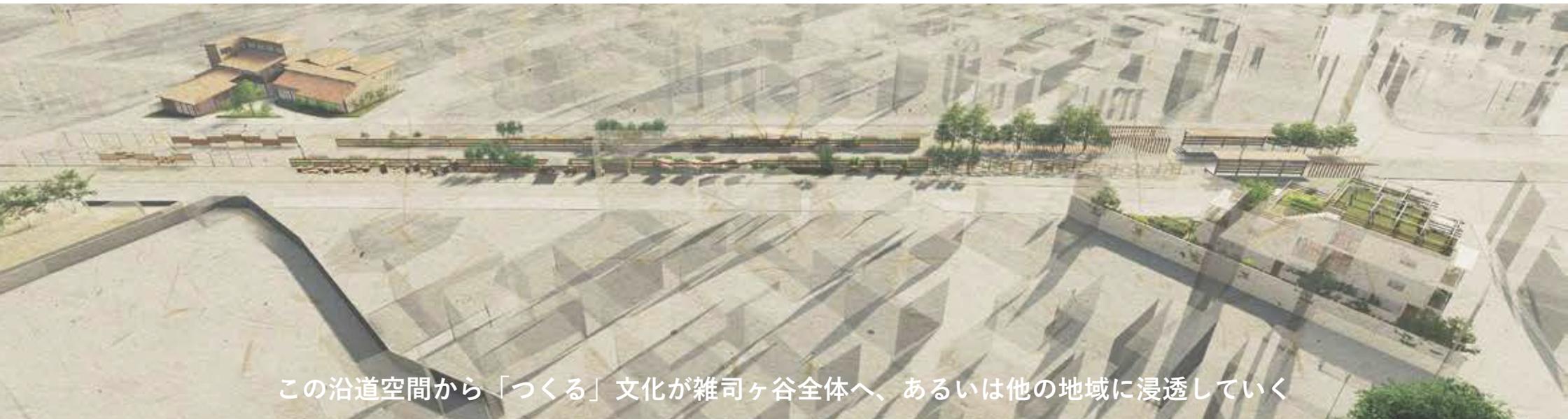
沿道には地域住民が協力し合って植栽を施し、道を彩る



沿道には植栽や都電荒川線を眺めるスポットが連続する



家具工房で家具をつくり、地域住民は自宅でも植栽をする意欲が生まれる



この沿道空間から「つくる」文化が雑司ヶ谷全体へ、あるいは他の地域に浸透していく